

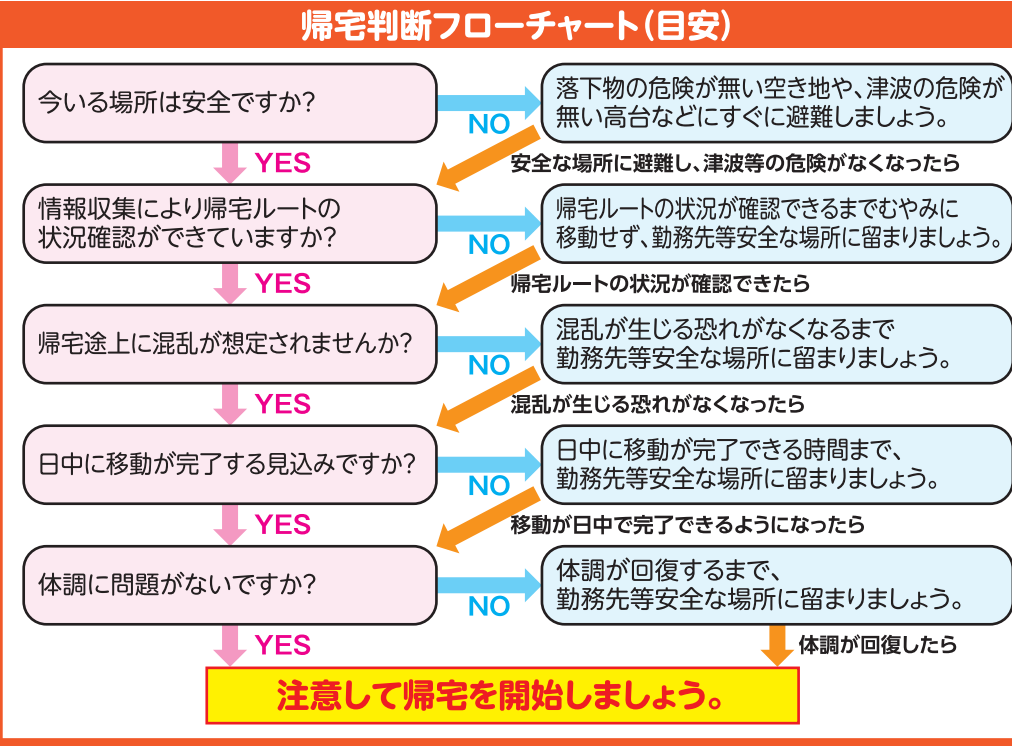
みよし市 帰宅困難者支援マップ

地震発生時、公共交通機関が停止した場合等により、帰宅困難となった方を支援するためのマップです。万が一、帰宅困難者になってしまった際にご活用ください。

帰宅困難者になったときの10か条

安全な場所にとどまることを考える

1. 落ち着いて、まずは状況確認
2. 携帯ラジオは必需品
3. 作っておくべし! 帰宅地図
4. 職場・学校などのロッカーにスニーカー
5. 職場・学校などに非常食を備蓄しておく
6. 事前に家族で話し合い(連絡手段、避難ルート)
7. 災害用伝言ダイヤル(171)で安否確認
8. 自宅までの道順を知っておく
9. 声をかけあい、助け合おう
10. 冷暖の装備(タオルやカイロ)も準備して



平成30年3月発行

平常時の備え

- ・帰宅グッズを備えましょう。
歩きやすい靴、懐中電灯、飲料水、食料、携帯電話充電器、地図、携帯ラジオ
- ・家族、職場との安否確認方法を事前に決めておきましょう。
- ・帰宅経路の状況を確認しておきましょう。
- ・自宅の耐震化や家具固定、ガラスの飛散防止をしましょう。
- ・災害情報を入手する機器の使い方をあらかじめ確認しておきましょう。
- ・帰宅困難者にならないよう、日頃からの備えが大切です。

むやみに移動(帰宅)を開始しない

地震発生後、多くの人が一斉に帰宅を始めると大混雑が発生し、負傷等をする恐れがあるほか、救助・救急活動の妨げにもなります。「むやみに移動(帰宅)を開始しない」ことは自分自身だけでなく、周囲の人の安全確保にもつながります。

- ・まず自分の安全を確保しましょう。
- ・安全な場所に留まり、慌てて移動するのはやめましょう。
- ・災害用伝言ダイヤル、災害用伝言板で家族の安否の確認や自分の安否を知らせましょう。
- ・正確な情報を入手しましょう。

徒歩帰宅の心得

- ・自宅までの距離を確認しましょう。
- ・帰宅が困難な場合は、安全な場所で待機しましょう。
- ・日中に行動し、夜間の行動は避けましょう。
- ・歩きやすい靴で行動しましょう。
- ・危険な箇所を避けて行動しましょう。
- ・こまめに休憩を入れましょう。

事業所等滞留の心得

- ・従業員の方をむやみに移動(帰宅)を開始させないでください。
- ・施設の安全確認後、従業員の方を事業所内に留まらせてください。
- ・従業員の方を留めておくための環境を整備しておきましょう。
- ・3日以上の上の水・食料等を備蓄しましょう。
- ・オフィス家具類の転倒、防止対策、固定を行います。
- ・従業員の方との連絡手段、手順を定めておきましょう。
- ・家族との安否確認手段を従業員の方へ周知しておきましょう。

帰宅困難者支援に関する情報

災害時に的確に行動するためには、正確な情報の入手と適切な判断が必要です。
災害や避難に関する情報はみよし市ホームページアドレス <http://www.city.aichi-miyoshi.lg.jp>へアクセス。

もしもの時の連絡に 災害時の安否確認方法

災害用伝言ダイヤル171

171にダイヤルする

ガイダンスに従い
伝言の録音は① 伝言の再生は②

ガイダンスに従い

被災地内の方も、被災地外の方も、被災地の方の電話番号、携帯電話・PHS・IP電話の電話番号をダイヤルして下さい。(市外局番からダイヤルして下さい)

災害用伝言板web171

<https://www.web171.jp>にアクセス

画面の指示に従い

被災地内の方も、被災地外の方も、被災地の方の電話番号、携帯電話・PHS・IP電話の電話番号を入力して下さい。(市外局番から入力して下さい)

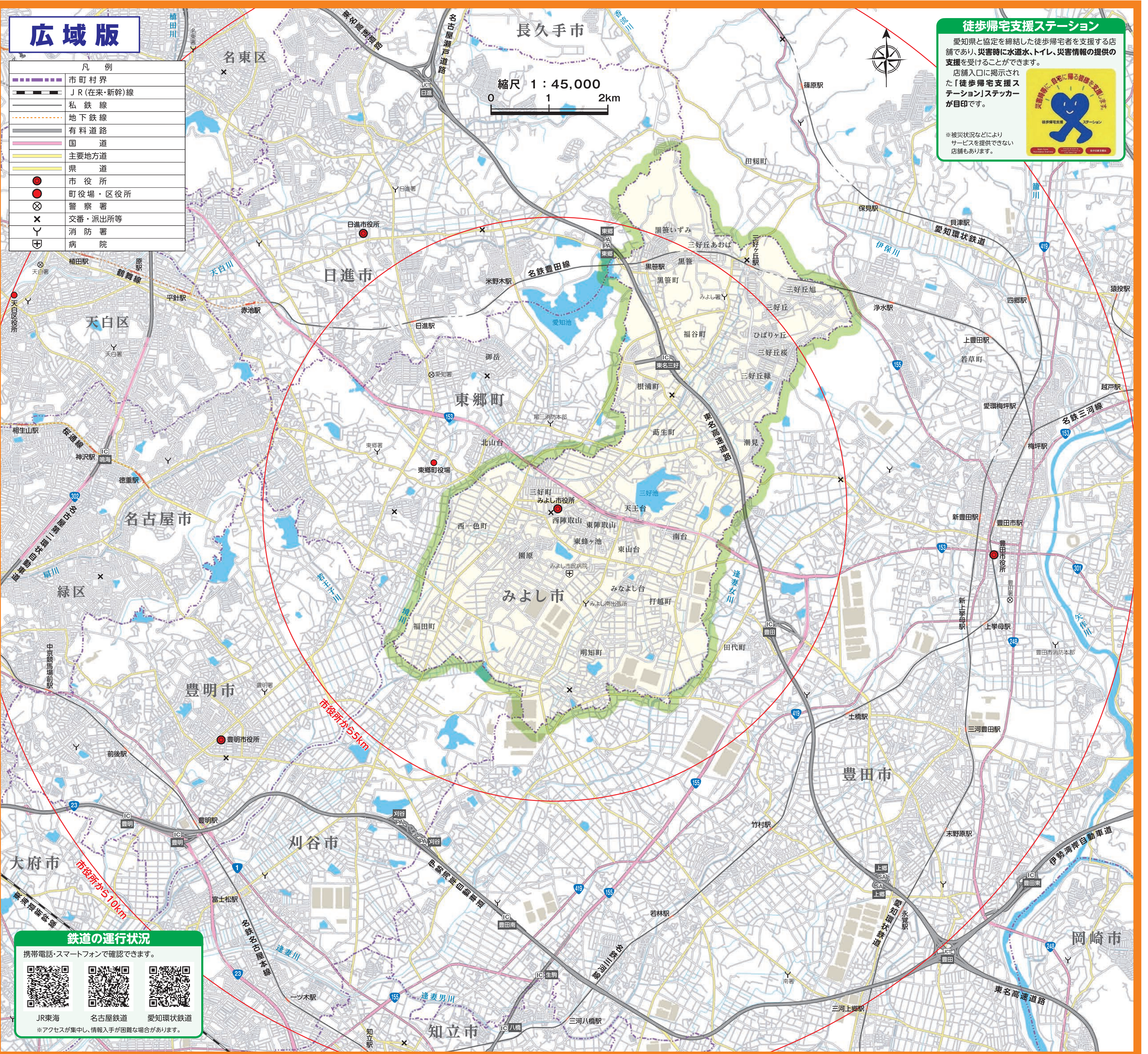
画面の指示に従い

文字による伝言を登録したり、閲覧して下さい。

体験利用のご案内

- ・毎月1日及び15日
- ・正月三日
- ・防災週間(8/30~9/5)
- ・防災とボランティア週間(1/15~1/21)

●問い合わせ●
みよし市役所 総務部防災安全課
 みよし市三好町小坂50番地
 TEL.0561-32-2111(代) FAX.0561-32-2165(代)



「この地図の作成に当たっては、国土院院長の承認を得て、同院発行の50万分1地方図、2万5千分1地形図及び電子地形図25000を使用した。(承認番号 平29情使、第444-301号)」この地図は、みよし市長の承認を得て、同市発行の都市計画基本図を使用したものである。【禁無断複製】 © 2018 ZENRIN CO., LTD.